

六月三日附内容證明郵便にて御通知致しました通り貴下  
を退職者と認め當會社の職工名簿より削りました事は寔  
に遺憾に堪へません

顧みれば貴下は多年當會社の事業に従事せられ熟練せる  
手腕を有しながら空しく之を抛ち今後他の新しき業務に  
従はるゝことは眞に惜しむべきことであります

併しながら貴下は已に當會社と何等關係なきこととなり  
ましたと共に自然爭議團との關係も無くなつた事と信じ  
ます就きましては此際平靜に貴下の立場を考慮せられ再  
び當會社に就職して熟練せる業務に従事せんこの御希望  
あれば御遠慮なく御申出下さい

當會社は能く調査して可成貴下の幸福を慮り御希望に添  
ひたいと思ひます

去二日三日の兩日新に職工募集をいたしました處募集人員百  
六十五名に對し應募者は實に三百五十餘名の多きに達し  
尙續々申込みがあります併しながら可成以前御勤めの御  
方を入れたいと思ひまして新しき應募者の採用は少數に  
止めたいと思ひますが際限なく待つ譯には参りませんか  
ら何卒會社の事情をも御考への上御希望あれば速に御申  
出下さい

尙再び御就職の諸君へは其勤務の状態を観まして從來よ  
りの關係に鑑み可成有利なる條件を撰びたいと思ひます  
右私の衷情を披瀝して御勧め致します

大正十五年六月六日